

- 1 施設名 こぐま保育園新園舎
- 2 施設場所 島根県出雲市大社町入南1307-5
- 3 事業主体 社会福祉法人 大社福祉会
- 4 施設の概要(建築に至った背景、施設の目的など)

園舎老朽化に伴い建て替えを考えており、改築をするのであれば当園の保育方針にあった木造の園舎にと思っていたところ、森林加速化・林業再生事業(木造公共施設整備)があることを知り、事業に応募した。

- 5 施設規模
建築面積 1,461.75㎡(延床面積 1291.57㎡)
木材使用量 322.47m³(国産材量48.37m³、県産材量274.10m³)
- 6 事業費 243,180,000円 (事業費は外構工事費等含まず)

7 写真



(外観)



(内部)

8 施設の特徴(アピール点)

○平面計画について

平面的には、玄関を真中に南側に小さい子供達(0~1歳)の部屋を配置し、北側に南向きに2~5歳の子供達の部屋を配置しました。職員室は、中央部分で玄関や園庭が見渡せるように配置し、安全性や機能性に配慮しました。また、全ての保育室が園庭に面するようにし、明るく広々としたスペースを確保しました。

○外観について

外壁の腰部分には島根県産の杉材を使用し、木造の建物であることを強調しました。一方、上部はやわらかい色合いの珪藻土塗りとし、杉材と調和するようにしました。また、屋根材は保育園周辺でも多用されている石州瓦を使用し、周辺地域との景観に配慮しました。

9 木材利用において工夫・考慮した点

全木材のうち島根県産木材を85%、のこり15%についても国産材(集成材)を使用しました。県産材の内、構造材(柱・梁)は出雲市内の山林で伐採し、板材については益田市の高津川沿線のものを使用しました。大きなスパンを確保するため、強度上集成材を使用しなければならない箇所があり、その部分については国産材(東北産のカラ松)を使用しました。

床には、弾力があり素足で遊ぶ子供達に優しい桧材を使用し、壁は杉材を使用しました。また、建具や家具に至るまで県産材にこだわり、内外部とも、目に見える木材は全て県産材となっています。